

科学館開館40周年
天文学40年間のおもなできごと

- 2010~2020年編 -

★2010年 6/13

小惑星探査機「はやぶさ」カプセル回収
小惑星の物質を初めて持ち帰る

★2011年 7月

国際宇宙ステーション
(ISS)完成

★2013年 3月

ALMA望遠鏡運用開始

★2014年 12/3

小惑星探査機
「はやぶさ2」打ち上げ

★2015年 7/14

無人探査機「ニュー・
ホライズンズ」が冥王
星へ接近

★2015年 9/15

ブラックホール合体に
よる重力波の初検出

★2019年 4/5

小惑星探査機「はやぶさ2」
により小惑星に初めて人工
レーダーを作成

★2019年 4/10

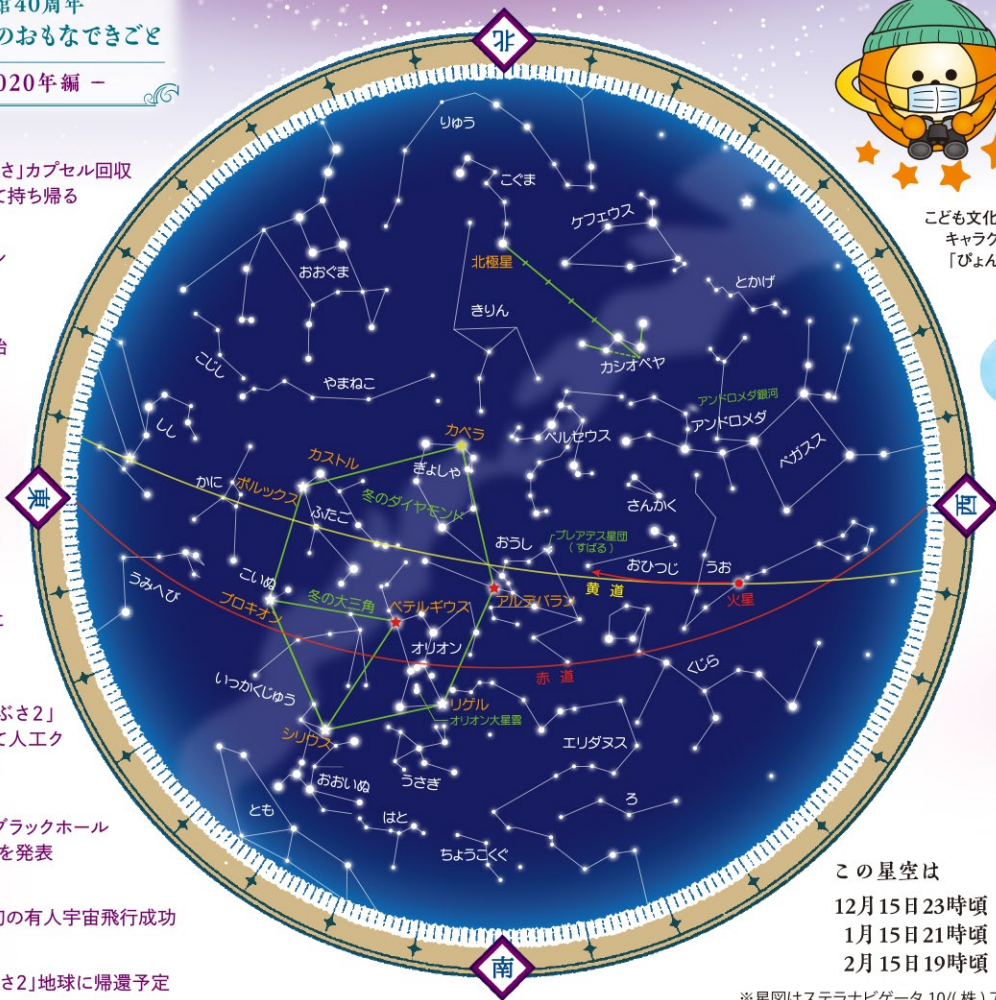
EHTが世界で初めてブラックホール
の撮影に成功したことを発表

★2020年 5/31

民間企業による史上初の有人宇宙飛行成功

★2020年 12/6

小惑星探査機「はやぶさ2」地球に帰還予定



こども文化科学館
キャラクター
「びよん太」

夜はすごく
冷え込むぞ!
必ず防寒対策をして
観察しよう!

《月齢》

12月	8日/下弦	●
	15日/新月	●
	22日/上弦	●
	30日/満月	●
1月	6日/下弦	●
	13日/新月	●
	21日/上弦	●
2月	5日/下弦	●
	12日/新月	●
	20日/上弦	●
	27日/満月	●

この星空は
12月15日23時頃
1月15日21時頃
2月15日19時頃

※星図はステラナビゲータ 10/(株)アストロアーツをもとに作成

2020-21 冬の星空

透明度が高い夜空と明るい星たち。冬は一年のうちでもひととき星の輝きを感じやすい季節です。

冬の星座で代表的なのがオリオン座です。オリオン座の目印は、ベテルギウスやリゲルという2つの一等星と、その間にある三ツ星です。この三ツ星を南東にのぼすと、全天で最も明るい恒星である、おおいぬ座のシリウスが見つかります。ベテルギウスとシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る正三角形が冬の大三角です。

オリオン座の三ツ星を北西にのぼすと、おうし座のアルデバランが見つかります。アルデバランの先には、プレアデス星団(すばる)がほんやりと輝いています。プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランに、ぎょしゃ座のカペラとふたご座のポルックスを加えると、大きな冬のダイヤモンドが完成します。

南西の空では、秋に地球に最接近した火星の赤く輝く姿を見ることができでしょう。

天文トピック

12/14月

ふたご座流星群極大

13日の夜から14日の明け方が見ごろです。月明かりの影響がないため、とても良い条件で観察できます。

12/21月 22火

木星と土星が大接近

夕方の南西の低空で、木星と土星がまるでひとつの星のように、見かけ上大接近して見えます。

2021. 1/3日

しぶんぎ座流星群極大

例年は、3日の夜から4日の明け方が見ごろです。月明かりの影響が大きいため、月を視界に入れないう、背にするなど工夫して観察しましょう。